

写真で見る ミライク会議

配信拠点準備

ミライク会議の様子をオンラインで全国の参加者にお届けするため、大会前日に、配信の拠点となるスタジオなどを設営しました。



オープニング

華々しい映像とともにスタートしたオープニングでは、大会長（刈谷市長）、実行委員長からのあいさつと、前回残念ながら中止となった「日本女性会議2019さの」大会長（佐野市長）のご挨拶、そしてさの大会実行委員長からバトンを受け取りました。



基調講演

ジェンダー研究の第一人者である上野千鶴子氏による基調講演では、『コロナ禍とジェンダー』と題したご講演と、ミライク会議に学生ボランティアとして関わっていた地元大学生との質疑応答も実施しました。



分科会

1日目の午後と2日目の午前中にかけて、3セッション、合計9つのテーマの分科会を開催。講演やパネルディスカッションなどのほか、オンライン上でグループワークをする参加型の企画などオンラインならではのプログラムとなりました。

分科会A 【高齢社会】



分科会B 【多文化共生】



分科会C 【DV】



分科会D 【防災】



分科会E 【男性にとっての男女共同参画】



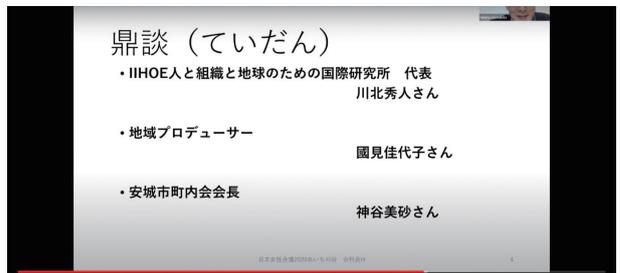
分科会F 【ライフ・ワーク・バランス】



分科会G 【性の多様性】



分科会H 【女性が輝けば地域も輝く】



分科会I 【子ども・子育て】



記念講演

記念講演では、骨髄バンク設立の立役者である大谷貴子氏による講演『女性が社会を動かすときー日本骨髄バンクのケースから』を実施しました。



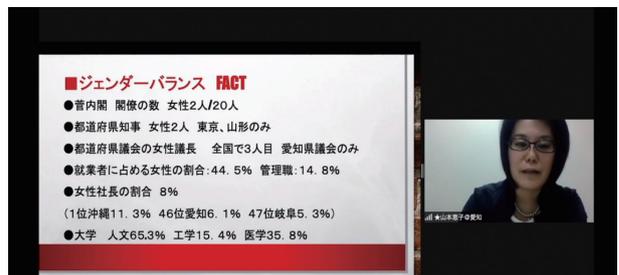
記念シンポジウム

スポーツ文化ジャーナリストの宮嶋泰子氏による講演の後、様々な立場でスポーツに関わるシンポジストも交えた議論が交わされました。



エキシビション

『ミライク若者会議』と題したエキシビションでは、講師2人からのミニ講演の後、パネルディスカッションと感想の共有のための「放課後タイム」を設け、参加者同士の交流が図られました。



エンディング

エンディングでは、実行委員長による大会総括が行われ、大会長から大会宣言が発信されました。そして、ミライク会議の想いは次期開催地・山梨県甲府市へとバトンの形で託され、大会史上初めてのオンライン実施となった「日本女性会議2020あいち刈谷」は幕を閉じました。

